

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2001-523997(P2001-523997A)

【公表日】平成13年11月27日(2001.11.27)

【出願番号】特願平10-545309

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 8/06

A 6 1 K 49/00

【F I】

A 6 1 B 8/06

A 6 1 K 49/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年 4 月14日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第545309号

2. 補正をする者

住 所 ノルウェー国, エン-0485 オスロ, ニコペイエン 2

名 称 アメルシャム ヘルス アクスイエ セルスカプ

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)

電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉



4. 補正命令の日付 (自発)

5. 補正対象書類名

請 求 の 範 囲

6. 補正対象項目名

請 求 の 範 囲

7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. ヒト又はヒト以外の動物対象体における組織灌流の測定方法に使用するための診断材料の製造における超音波造影剤の使用であって、該方法は、該超音波造影剤の有効量を該対象体に投与し、標的領域の組織に、該標的領域内の認識可能な量の造影剤のエコー源性を破壊又は見分け可能に変更するのに十分なエネルギーを有する超音波の少なくとも一つのパルスを照射し、そして該標的領域に入る追加の造影剤又は該標的領域から出る変更された造影剤の流速を超音波で検出しそして定量することを含む、上記の使用。
2. 上記造影剤が生物適合性ガスを含む、請求項 1 に記載の使用。
3. 上記ガスがイオウハロゲン化物又はペルフルオロカーボンを含む、請求項 2 に記載の使用。
4. 上記ペルフルオロカーボンがペルフルオロブタンからなる、請求項 3 に記載の使用。
5. 上記ガスが両親媒性脂質材料により安定化される、請求項 2 ないし 4 のいずれか一項に記載の使用。
6. 上記両親媒性脂質材料が膜形成性脂質を含む、請求項 5 に記載の使用。
7. 上記膜形成性脂質がリン脂質からなる、請求項 6 に記載の使用。
8. 上記膜形成性脂質の少なくとも75%が負に荷電したリン脂質を含む、請求項 7 に記載の使用。
9. 上記負に荷電したリン脂質が少なくとも一つのホスファチジルセリンを含む、請求項 8 に記載の使用。
10. 標的領域に入る追加の造影剤の流速の超音波検出および定量が、Bモード又はドップラーに基づく画像形成を用いて行われる、請求項 1 ないし 9 のいずれか一項に記載の使用。

11. 非線形画像形成技術を使用する、請求項10に記載の使用。
12. 標的領域に入る追加の造影剤の流速がカラーマップとして表示される、
請求項1ないし11のいずれか一項に記載の使用。
13. 上記カラーマップが標的領域の慣用のBモード画像に重ねられる、
請求項12に記載の使用。